

1. 科目名 (単位数)	情報科指導法Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	EDIT3345
2. 授業担当教員	森 正人		
4. 授業形態	講義、演習および実習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講義は、高等学校教諭免許状「情報」を取得しようとする学生を対象とし、高等学校・教科「情報」の指導法の基本的事項について学習する。「情報科指導法Ⅱ」では、「情報科指導法Ⅰ」で学習したことを基礎として、教材作成や指導案の作成、模擬授業の実施、評価の仕方等について実習を通して実践的に学習する。		
8. 学習目標	情報科指導法Ⅰで学習したことを踏まえ、実際に授業計画立案や教材・教具開発に必要な知識・技能を身に付けられる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業案や構想等をレポートとして提出を求める。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『高等学校学習指導要領解説情報編』2022年。 高等学校教科書 最新 情報Ⅱ (実教出版)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教材作成や指導案の作成ができるか。 2. 模擬授業を実施し、生徒を評価できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 平常点(模擬授業、授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50% 最終考課(テストもしくは最終課題) 50%		
12. 受講生へのメッセージ	これまでに学習した内容を各専門分野も含めて総動員してもらいますので、適宜、復習をしながらの学習となるはずですが、覚悟して下さい。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 高等学校・教科「情報」について	事前学習	「高等学校学習指導要領解説情報編」を読む。
		事後学習	教科「情報」の目的は何か、他人に説明できるようになるまで学習する。
第2回	「情報社会に参画する態度の育成」の分担決定・教材作成、指導案の作成についておさらい	事前学習	情報社会に参画する態度の育成に関する分野の模擬授業をしてみたい単元を探す
		事後学習	担当する単元について、授業の大まかな計画を練る
第3回	授業構想練り、アイデア発表とディスカッション 情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	担当する単元について、どのような授業を展開したいのか、大まかなアイデアを簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、授業展開のアイデアを修正する
第4回	指導案作成とディスカッション	事前学習	担当する単元について、指導案の概要を簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、指導案を修正する
第5回	教材作成とディスカッション	事前学習	担当する単元について、作成する教材の概要を簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、教材を修正する
第6回	生徒の評価基準・テストの作成とディスカッション	事前学習	生徒の評価基準とテストについて、概要を簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、生徒の評価基準とテストを修正する
第7回	模擬授業の準備	事前学習	模擬授業のリハーサルを行う。
		事後学習	模擬授業後のディスカッションや講評から、自分の模擬授業を反省する。
第8回	模擬授業 情報機器と電子教材を積極的に利用する模擬授業を推奨する。	事前学習	模擬授業のリハーサルを行う。
		事後学習	模擬授業後のディスカッションや講評から、自分の模擬授業を反省する。
第9回	「情報の科学的理解」に関する分野模擬授業の分担決定・教材作成、指導案の作成についておさらい	事前学習	模擬授業をしてみたい単元を探す
		事後学習	担当する単元について、授業の大まかな計画を練る
第10回	授業構想練り、アイデア発表とディスカッション 情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	担当する単元について、どのような授業を展開したいのか、大まかなアイデアを簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、授業展開のアイデアを修正する
第11回	指導案作成とディスカッション	事前学習	担当する単元について、指導案の概要を簡単なメモにする
		事後学習	担当する単元について、指導案を修正する
第12回	教材作成とディスカッション	事前学習	単元について、作成する教材の概要を簡単なメモにする

		事後学習	担当する単元について、教材を修正する
第13回	生徒の評価基準・テストの作成とディスカッション	事前学習	生徒の評価基準とテストについて、概要を簡単なメモにする
		事後学習	生徒の評価基準とテストについて、概要を簡単なメモにする
第14回	模擬授業の準備	事前学習	模擬授業のリハーサルを行う。
		事後学習	模擬授業後のディスカッションや講評から、自分の模擬授業を反省する。
第15回	模擬授業 情報機器と電子教材を積極的に利用する模擬授業を推奨する。	事前学習	模擬授業のリハーサルを行う。
		事後学習	模擬授業後のディスカッションや講評から、自分の模擬授業を反省する。
期末試験			